

## ニュージーランド評価書（案）たたき台の変更点（新旧対照表）

旧（第 64 回プリオン専門調査会資料）	新（第 65 回プリオン専門調査会資料）
<p>回答書には、「ニュージーランドは伝達性海綿状脳症（TSE）の発生が無い国であると認められている」と記載されている。なお、2009年に非定型スクレイピー/Nor98 が一例報告されているが、ニュージーランド食品安全庁（NZFSA）の公表資料によると、非定型スクレイピー/Nor98 は、主流の科学的見解では、老齢の綿羊及び山羊で自然発生する変性疾患であるとされている。</p>	<p>回答書には、「ニュージーランドは伝達性海綿状脳症（TSE）の発生が無い国であると認められている」と記載されている。なお、2009年に非定型スクレイピー/Nor98 が一例報告されているが、ニュージーランド食品安全庁（NZFSA）の公表資料によると、非定型スクレイピー/Nor98 は、主流の科学的見解では、老齢の綿羊及び山羊で自然発生する変性疾患であるとされている。</p> <p><u>しかしながら、非定型スクレイピー/Nor98 は、羊及び羊トランスジェニックマウスへの脳内接種実験によって伝達性が確認されている。また、一つの綿羊群から複数の罹患羊が確認されたとの報告もある。これらの知見から、非定型スクレイピー/Nor98 が自然界において個体間で伝達する可能性は排除できないと考えられる。また、起源についても、栄養学的な可能性や、不明とする意見もある。（参照 2、3、4、5、6、7）</u></p> <p><u>以上から、非定型スクレイピー/Nor98 の疫学的な解釈については、広く科学者の間で合意が得られているとは言えないと考えられる。</u></p>

## 参照文献

- 2 [Simmons M M, Konold T, Simmons HA, Spencer YI, Lockey R, Spiropoulos J, Everitt S and Clifford D: Experimental transmission of atypical scrapie to sheep. BMC Vet Res. 2007; 28:3:20](#)
- 3 [Simmons M M, Konold T, Thurston L, Bellworthy S J, Chaplin M J and Moore S J: The natural atypical scrapie phenotype is preserved on experimental transmission and sub-passage in PRNP homologous sheep. BMC Vet Res. 2010; 10:6:14.](#)
- 4 [Le Dur A, Béringue V, Andréoletti O, Reine F, Lai T L, Baron T, Bratberg B, Vilotte J L, Sarradin P, Benestad S L and Laude H: A newly identified type of scrapie agent can naturally infect sheep with resistant PrP genotypes. Proc Natl Acad Sci U S A. 2005; 102\(44\):16031-16036.](#)
- 5 [Lühken G, Buschmann A, Brandt H, Eiden M, Groschup M H and Erhardt G: Epidemiological and genetical differences between classical and atypical scrapie cases. Vet Res. 2007; 38\(1\):65-80.](#)
- 6 [Hopp P, Omer M K and Heier B T: A case-control study of scrapie Nor98 in Norwegian sheep flocks. J Gen Virol. 2006; 87\(Pt 12\):3729-36.](#)
- 7 [Benestad S L, Arzac J N, Goldmann W and Nöremark M: Atypical/Nor98 scrapie: properties of the agent, genetics, and epidemiology. Vet Res. 2008; 39\(4\):19.](#)